

総務常任委員会

(12月4日開催)

議案第1号、議案第2号、議案第5号、議案第11号、議案第13号の一部、議案第14号の一部

(原案可決)

△ 委員会質疑要約▽

* 議案第11号について

Q 落札業者はくじにより決定したのとことだが、くじ引きの方法はどのようなものか。

A 現在は県内のほとんどの自治体が入入している電子入札システムを使用しておりくじ引きもコンピューターによる統一されたシステムで行っています。



総務常任委員会の審査の様子

* 議案第13号について

Q 総務一般職員人件費の184万7千円の補正理由は何か。

A 山武市職員の給与に関する条例の一部改正と児童手当の増分によるものです。

* 議案第14号について

Q 人間ドック契約医療機関と、その利用状況はどうか。

A 契約している医療機関は、市内が3か所、市外が12か所です。平成24年度の利用状況は別表のとおりです。

※別表 人間ドック 利用状況(平成24年度)

医療機関	利用件数	医療機関	利用件数
さんむ医療センター	186	成田赤十字病院	26
大平医院	2	八街総合病院	12
花城医院	10	聖隷佐倉市民病院	3
浅井病院	138	亀田総合病院	9
国保旭中央病院	62	ちば県民保健予防財団	14
千葉社会保険病院	22	井上記念病院	2
山王病院	25	PL東京健康管理センター	4
亀田幕張クリニック	29	その他	22

(順不同)

経済建設常任委員会

(12月4日開催)

議案第3号、議案第4号、議案第13号の一部

(原案可決)

△ 委員会質疑要約▽

* 議案第13号について

Q 津波被災住宅再建支援事業として、今年度は89件に支援金を支給することだが、支給される金額は住宅の規模により異なるのか、それとも均等であるのか。

A 建物の規模にはかわりなく、全壊や半壊といった被害の状況と、新築・一部補修・地盤補強等の再建の状況により異なります。



経済建設常任委員会の審査の様子

津波被災住宅再建支援事業は、平成25年度から27年度までの3か年にわたる事業であるとのことだが、平成26年度及び27年度における金額は既に算定されているのか。

A 平成26年度は、41件で3千925万円、平成27年度は19件で1千850万円を予定しています。

* 調査事業は、どのような内容か。

A 現在の汚水適正処理構想では、用途地域でもある旧町村の中心部が公共下水道の区域になっておりますが、社会情勢の変化等を考慮し、事業の可能性も含め、公共下水道の区域を検討するための初期調査です。

文教厚生常任委員会

(12月5日開催)

議案第6号、議案第7号、議案第8号、議案第9号、議案第10号、議案第12号、議案第13号の一部、議案第14号の一部

(原案可決)

△ 委員会質疑要約▽

* 議案第7号から議案第10号について

Q ファシリティマネジメントの観点から3年契約にしたとのことだが、なぜ3年契約にしたのか。また、施設の取り壊しが決定しているとのことだが、今後はどのような考えなのか。

A ファシリティマネジメントの観点に限らず、人件費について3年と5年を比較すると1割程度安価になるため、3年で見積もりをしました。また、施設の集約については担当課で検討しているところです。

載されているが、医師の確保に充てると明記できないのか。

A 医師の確保については、第2期中期計画中の医療水準の向上の人材確保に明記しています。

Q 第1期の中期計画において、医療機器の整備及び医師の確保にどの程度の金額を支出したのか。

A 医療機器に対し平成22年度は8千万円、平成23年度は6千万円、平成24年度及び平成25年度は5千万円です。また、医師確保にかかる経費として、平成22年度は1千500万円、平成23年度及び24年度は各3千万円です。

Q さんむ医療センターに移行後、医師の人数が減少しており、来春には東千葉メディカルセンターも開設されることから、今後特に内科医の確保に取り組んでいかなければ、経営に影響があると思うがどうか。



Q 議案第12号について 剰余金は病院の建替え等に充てると記